

厳選機器をお得な価格でご提供!
好評の39キャンペーン
第6弾を開催



平成30年1月より3月末日まで、バンザイでは皆様の日頃のご愛顧にお応えして「期末大感謝セール・39キャンペーン」を開催いたします。厳選された各種サービス機器を、**割引総額 392,000円**のお買い得価格でご提供いたします。この機会をお見逃しなく、設備機器の拡充、更新にお役立てください。

開催期間 平成30年
1月5日～3月31日まで



BANZAI NEWS

2018
Winter
305

特集
 BANZAI NEWS

**第45回東京モーターショー2017から見た
 2020年以降のクルマ社会とアフターマーケット**



BANZAI 株式会社 バンザイ <http://www.banzai.co.jp>

<p>本社 東京都港区芝2-31-19 TEL 03-3769-6880 E-mail: eigyo@banzai.co.jp</p>	<p>札幌支店 札幌市西区24軒1条7-3-10 TEL 011-621-4171 E-mail: sapporo_br@banzai.co.jp</p>	<p>東京支店 東京都港区芝浦4-16-23 AQUACITY芝浦8F TEL 03-3769-6840 E-mail: tokyo_br@banzai.co.jp</p>	<p>広島支店 広島市西区南観音2-7-10 TEL 082-233-3201 E-mail: hirosima_br@banzai.co.jp</p>	<p>●営業所 旭川・青森・秋田・盛岡 郡山・山形・新潟・長野 前橋・宇都宮・水戸・埼玉 千葉・横浜・静岡・多摩 北陸・三重・京都・神戸 高松</p>
<p>営業部 東京都港区芝浦4-16-23 AQUACITY芝浦8F TEL 03-3769-6881</p>	<p>仙台支店 仙台市宮城野区福室2-8-21 TEL 022-258-0221 E-mail: sendai_br@banzai.co.jp</p>	<p>名古屋支店 名古屋市中区千種区青柳町6-26 TEL 052-732-2600 E-mail: nagoya_br@banzai.co.jp</p>	<p>福岡支店 福岡市博多区那珂5-3-15 TEL 092-411-1261 E-mail: fukuoka_br@banzai.co.jp</p>	<p>●出張所 帯広・函館・富山・松山 岡山・山口・山陰・長崎 大分・熊本</p>
<p>海外販売部 東京都港区芝浦4-16-23 AQUACITY芝浦8F TEL 03-3769-6894</p>	<p>関東支店 埼玉県北本市朝日4-553 TEL 048-590-3700 E-mail: kanto_br@banzai.co.jp</p>	<p>大阪支店 大阪府市長田東3-3-11 TEL 06-6744-1041 E-mail: osaka_br@banzai.co.jp</p>	<p>●販売会社 バンザイ南九州販売(株) バンザイ沖縄販売(株)</p>	<p>ISO9001-ISO14001 自動車整備用部品検査用機器の設計開発販売及びサービス バンザイでは「顧客第一主義」を信条に お客様とのきずなを大切に、 お客様満足度の向上を図ってまいります。</p>





白川郷合掌造りの家 ————— 岐阜県大野郡白川村

岐阜県白川郷、雪晴れに輝く合掌造りの家々。空に向かって急勾配のかや葺き屋根を持つ合掌造りは、200年もの歳月と四季の風雪に耐え、今もなお人々の暮らしとともに生きています。

★歳時記

- 1月 1日 元日
- 7日 七草
- 8日 成人の日
- 2月 3日 節分
- 4日 立春
- 11日 建国記念の日
- 3月 3日 ひな祭り
- 18日 彼岸入り
- 21日 春分の日



●目次

- ★新年のごあいさつ ①
- ★特集 第45回東京モーターショー2017から見えた..... ②
2020年以降のクルマ社会とアフターマーケット
- ★モデルショップ訪問【静岡トヨタ株式会社 浜松サービスセンター】... ⑥
最新機器とシステム導入により、
効率的かつ清潔な車体整備環境を実現
- ★ショールーム..... ⑧
- ★EPOCH <彌生ゼーゼル工業(株)における技術者育成の取り組み>..... ⑭
- ★経営戦略・工場見学会..... ⑯
- ★ロータリー..... ⑳
- ★BANZAIガイド..... ㉑

あけましておめでとうございます

2018年の新春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は格別なるお引き立てを賜り誠に有難うございました。

昨年は世界経済の堅調さを背景に、わが国の景気回復局面は、高度成長期の「いざなぎ景気」を抜き、戦後2番目の長さとなりました。本年も緩和的な金融環境が続く中、労働需給の逼迫を背景に、「生産性向上」に取り組むための設備投資やIT（情報技術）化を一段と進めることが予測され、景気や企業業績は、ゆるやかな拡大基調をたどると見込まれています。

さてこのような社会経済の動向を背景として、大きな変化の中にある自動車業界ですが、昨今、「100年に一度」ともいわれる自動車の大きな変革期を迎えていると言われています。NEV（新エネルギー車）、ASV（先進安全自動車）さらにAI（人工知能）を搭載した自動運転技術、そしてカーシェアリングなどの車の利用形態の変革など、未来モビリティへの道筋を展望するかのよう、その具体的な方向性が明らかになりつつあります。

こうした技術革新の一方で、少子高齢化を背景とした労働力、人材の不足はあらゆる業界において顕在化しています。自動車サービスにおいても優秀な技術者の確保、育成とともに、国をあげて取り組んでおります「働き方改革」も必須のテーマとなっています。

このような中で、新技術対応、職場環境づくり、コンプライアンス対応など、企業においては様々な取り組み、推進が求められており、バンザイではこれらの課題に対し、皆さま個々の企業のニーズに即した幅広い対応策、ソリューションをご提供してまいりました。

さらに、このような市場の変化、皆さまの経営環境の変化をとらえ、本年バンザイでは「働き方改革サポート」をテーマとして、働く人を主役とした快適な職場環境づくりの提案、カーオーナーに魅力的な診断・

提案サービス、そして顧客満足度の向上と高品質なサービスを実現するシステム化の提案など、各種のサポート施策を展開してまいります。これらハード、ソフトにわたるバンザイのノウハウを、皆さまにお役立て頂ければ幸いに存じます。

本年も倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、末筆ではございますが、新しい年が皆さまにとりまして大きな飛躍の一年となりますようお祈り申し上げます。



株式会社 バンザイ
代表取締役社長 柳田 昌宏

第45回東京モーターショー2017から見た 2020年以降のクルマ社会とアフターマーケット

2年に1度のクルマの祭典、第45回東京モーターショー2017が、10月27日から11月5日までの10日間、東京ビッグサイト(東京都江東区)で開催されました。国内自動車メーカー14社、海外自動車メーカー13社を含む総計153社・団体の出品内容から垣間見えたのは、東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年よりもさらに先、電動化・自動化・AI(人工知能)技術の普及・進化が一段落した後の、クルマ社会と自動車アフターマーケットの姿でした。



日産IMxと同車のEV専用プラットフォーム

日産IMxをはじめとして市販化を見据えた 電動化・自動化・AI技術搭載車が多数登場

東京モーターショー開催国の日本をホームグラウンドとする、国産車メーカー各社が目玉に据えたコンセプトカーの多くは、やはり電動化・自動化・AI技術を満載したモデルでした。

前回の「IDSコンセプト」に続いてプレスデイ初日にサプライズ発表された、日産の超高性能クロスオーバーEV「IMx」は、全長×全幅×全高=4700×1880×1620mm、ホイールベース2800mmのやや大柄なボディサイズにBピラーレス構造と観音開きドア、新開発の低重心・高剛性なEV専用プラットフォームを採用。

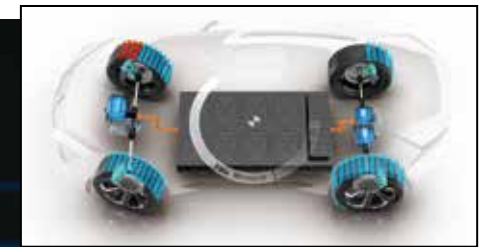
フラットで広々とした室内を備えながら、モーターを前後に搭載する4WDとし、最高出力320kW・最大トルク700N・mもの高性能を発揮しつつ、ホイールベース間にフラットに配置される駆動用バッテリーを高密度化することで、航続距離600km以上を確保し、さらにワイ

ヤレス給電システムをフロントに搭載しています。

また「IDSコンセプト」に続き、完全自動運転を行う「プロパイロットドライブ」の際はステアリングがインパネ内に格納され、ドライバー自身が運転する「マニュアルドライブ」の場合はステアリングがせり出す「オンデマンド運転モード」を採用。9つのレーダー、12個のカメラ、6つのレーザースキャナー、16個のソナー、AIを搭載し、360°センシングを可能にすることで、ドライバーが目視で認知しにくい死角にいる他社や歩行者、障害物などをより早く察知する進化した「エマージェンシーブレーキ」を実装しました。

さらに、無人自動駐車の際は、車両とリアルタイムの道路形状・状況をオペレーターが監視する「シームレスオートノマスモビリティシステム」と組み合わせることで、無人運転時の事故発生リスクを低減させています。

なお日産では、このコンセプトカーに採用された新開発のEV専用プラットフォームを2020年、完全自動



三菱e-Eボリューションコンセプトと同車の「デュアルモーターAYC」

運転技術を2022年に実用化する計画を立てています。「IDSコンセプト」が発表から2年後の2017年、「オンデマンド運転モード」以外はほぼそのまま、新型リーフとして市販化されたことを考慮すると、このIMxも同様のスタイルを堅持したまま、新たなクロスオーバーEVとして2020年頃に発売される可能性は高いでしょう。

三菱e-EボのデュアルモーターAYCは開発が 進行中。ホンダもEV専用車を2019年に発売

三菱も同様に、クロスオーバーEVのコンセプトモデル「e-Eボリューションコンセプト」を発表しました。技術的プロトタイプとされた同車のスペックは公表されていませんが、フロントに1機のモーターと、リヤに新開発の「デュアルモーターAYC」(AYC=アクティブヨーコントロール)を搭載したトリプルモーター方式の4WDシステムを採用しました。

これに大容量リチウムイオンバッテリーと電動ブレーキキャリア、多くのセンサーからドライバーの意思運転転量、道路環境・交通状況を認識し運転をアシストするコーチング機能付きAIを組み合わせることで、EVならではのレスポンス良く一体感のある安全・快適な走りを実現する、としています。

なお、「デュアルモーターAYC」はすでに開発が進められており、将来的に何かしらのピュアEVまたはPHEVのモデルに採用されるのはほぼ確実な情勢です。

またホンダは、「NeuV(ニューヴィー)」、「アーバンEVコンセプト」、「スポーツEVコンセプト」からなる3台のEVを出品しましたが、そのいずれにもAIで安全運転のサポートやドライバーの嗜好に合わせた提案を行う「ホンダ・オートメテッド・ネットワーク・アシスタント」が採用されています。このうち「アーバンEVコンセプト」は、2019年に欧州、2020年に日本で発売する量産EVのベース車と位置付けられています。



(左より)ホンダNeuV、スポーツEVコンセプト、アーバンEVコンセプト

海外勢はドイツ系各社がレベル3以上の 自動運転技術搭載を見据えたEV専用車を出品

今回海外勢はアメリカ、イギリス、イタリアからの出展がありませんでしたが、日本での販売台数が多いドイツ系ブランドが積極的にコンセプトカーを出品していました。

中でもメルセデス・ベンツのEV専門ブランド「EQ」の小型EVコンセプト「EQ A」や、フォルクスワーゲンのEV専門ブランド「ID.」からの発売が決定している8人乗り4WDマイクロバスEV「ID.BUZZ」、高速道路走行および駐車でのレベル4自動運転を可能にする2020年日本導入予定の「アウディ・イレーヌ・コンセプト」は、特に注目すべきモデルといえるでしょう。なおアウディは、前号でご紹介しました、限定的ながらレベル3自動運転を初めて実用化した新型「A8」も参考出品しています。

これらのモデルにほぼ共通しているのは、極めて高性能なモーターと大容量のバッテリー、カメラや超音波ソナー、ミリ波レーダー、LiDAR(レーザースキャナー)といった数多くのセンサーとそれらを統合するコンピューター、そしてAIが搭載されるということです。しかもこれらは、夢物語を描いたただのコンセプトカーではなく、市販化を見据えた現実的なモデルなのです。

電動化技術は現在のハイブリッドカー、自動化技術は現在の衝突被害軽減ブレーキの延長線上にあり、それらの点検整備に対応できる技術・設備を現時点



メルセデス・ベンツEQ A フォルクスワーゲンI.D.BUZZ アウディ・イレーヌ・コンセプト 新型アウディA8

で備えていけば比較的スムーズに対応できると思われ
ますが、高性能化し部品点数も増える分、より広範囲
な点検と慎重な整備・修理が求められるのは間違い
ありません。

またAIも搭載されることで、車両に強固な情報
セキュリティシステムが実装される一方、保存されてい
るデータのバックアップやアップデートなどでは、
カーオーナーのプライバシー保護のために極めて繊細
な取り扱いが必要となるでしょう。

つまり、こうした車両を点検・整備・修理する
うえでは、個人のパソコンやスマートフォンを取り
扱うのと同レベルの情報漏洩防止体制が、セキュリ
ティシステム構築と人材教育の両面で求められるよう
になるのです。

各社が手に届きやすい小型ホットハッチや 日本の美意識に根ざしたデザインを提案

こうして電動化・自動化・AI搭載が現実のもの
となりつつある中、今回の東京モーターショーでは
「移動の自由」に並ぶクルマの根源的な魅力である
「意のままに操る喜び」と造形物としての「美しさ」
を追求する動きも見られました。

前者では、F1用パワーユニットをほぼそのまま搭載した
スーパースポーツ「メルセデスAMGプロジェクト・ワン」
や、BMWの頂点に立つ超高級クーペ「コンセプト8

シリーズ」、量産FF車最速を争う新型「ルノー・メガーヌ
R.S.」といったハイパフォーマンスカーが目を引き一方、
「トヨタ・ヴィッツGRMN」や新型「スズキ・スイフトスポーツ」、
「フォルクスワーゲンup! GTI」、「ルノー・トゥインゴGT」と
いった、手に届きやすい小型ホットハッチが多数出品
され、多くのクルマ好きから注目を集めていました。

後者では、2018年中頃発売予定の新型「トヨタ・
センチュリー」が手作業で極限まで平滑化する外板
と塗装、彫金師が型をタガネで手彫りして製作する
鳳凰エンブレムなどの「匠の技」を継承しながら、
同車が伝統とする水平基調のスタイルをよりシンプル
かつモダンに進化。

そしてマツダが世界初公開した2台のコンセプト
モデル「ビジョンクーペ」と「魁(カイ) コンセプト」
は、プレスラインなどの要素を削ぎ落としたシンプルな



新型ルノー・メガーヌR.S.



トヨタ・ヴィッツGRMN 新型スズキ・スイフトスポーツ フォルクスワーゲンup! GTI ルノー・トゥインゴGT

フォルムに、繊細な光の表現と豊かなプロポーションを
併せ持つことで、日本古来の「引き算の美学」を体
現しており、一般来場者のみならず多くの報道陣や
業界関係者からも高い評価を得ています。

既存の知識・技術をブラッシュアップ させつつ最先端技術への対応も必要に

電動化・自動化が進んでピュアEVの無人運転車が普
及するに連れて、自動車のビジネスモデルは「所有」
から「使用」へ移行していくと言われており、すでに
その傾向はカーシェアやライドシェアの普及が進み、
ルノー・日産・三菱アライアンスやフォルクスワーゲン
グループが「モビリティ・アズ・ア・サービス (MaaS。
サービスとしてのモビリティ)」ビジネスへの参入



新型トヨタ・センチュリー

を表明するといった動きに現れています。

その中で既存の自動車メーカーが、新規参入企業
が容易に持ち得ない存在意義と、内燃機関を含めた
既存のビジネスモデルを一定以上維持するためには、
個人のカーオーナーが「所有したい」と思えるような、
クルマが根源的に持つ魅力を明確に体现したモデル
が必要不可欠となるでしょう。今回の東京モーター
ショーでスポーツカーやデザイン重視のモデルが数多く出品され
たことは、こうした傾向の裏返しといえます。

しかしながら、これら既存の価値観に根ざしたクルマで
も生き残りをかけて日進月歩で技術の進化が進んで
おり、生半可な知識・技術で点検・整備・修理に臨ん
では、かえってクルマを新車の状態から遠ざけ、カー
オーナーの信頼を失うことになりかねません。

オイル・タイヤ・バッテリーといった消耗品や、
ボディカラーひとつ取っても、これまでにない構造、
規格を持つものが、大きくアナウンスされることなく
採用・発売される事例は、今後ますます増えていくこ
とでしょう。

これからの自動車アフターマーケットには、既存
の点検・整備・修理に関する知識・技術をブラッシュ
アップさせることも怠らず、かつ最先端の電動化・
自動化・AI技術を搭載したモデルの点検・整備・修理
にも備えるという、極めて広範な対応力が求められる
ことになりそうです。



メルセデスAMGプロジェクト・ワン



BMWコンセプト8シリーズ



マツダ・ビジョンクーペ



マツダ魁コンセプト

最新機器とシステム導入により、 効率的かつ清潔な車体整備環境を実現

静岡県内に新車店舗として32拠点を展開する静岡トヨタ自動車(株)では、このたび浜松サービスセンターを移転新築し、作業効率の向上、水性塗料の導入など新技術への対応、ならびに作業環境の大幅な改善など、車体整備に求められている未来対応を具現化した最新鋭のセンター拠点としてオープンしました。



サービスセンターの外観、清潔なイメージをアピール



快適な作業空間と効率化を実現



板金から塗装工程へ、手前から奥へ向かう工程レイアウト



センター長
友田 吉隆氏

スムーズな作業連携を 創るシステム導入

浜松市街の北東にあたる東区に完成した新サービスセンターは、敷地面積約3,000平方メートル、延べ床面積約1,800平方メートル、東名高速の浜松ICに至近の立地です。新工場の計画にあたっては「設備の大幅な刷新を図ること、従来使い勝手の良くなかった工場レイアウトなどを改善することが最大の目的でした」とセンター長の友田吉隆氏。プランニングの段階ではスタッフの意見も採り入れ、「現場の要望も最大限に採用していただいたので、理想的な作業環境が実現できました」とのこと。板金から塗装までの各作業工程に最新の設備を導入し、あわせて工程間の効率的な連携を図り、スムーズな作業の流れを創り出しています。

水性化への対応も視野に最新設備を導入

板金エリアにはスーパーフロアレールを6ストールに、うち3ストールにリフト付き固定装置を導入。これにより大ダメージの修正から軽板金作業まで、あらゆる修復作業に迅速に対応することが可能となっています。サンディングスペースには粉塵の飛散を防止する床面集塵ピットを設備。また下地・マス킹・塗装エリアにはスライドレールで車両を横移動できるB&Pラインシステムを導入。また将来的な水性塗装への全面的移行を想定し、塗装工程の左右に配置した2基の塗装ブースのうち1基は水性塗料対応としています。それぞれの塗装ブースは両側・片側ドアの採用で、スムーズな車両の入出庫が可能となっています。また各工程の作業ストールの周辺部には部品の脱着、組付け等に余裕のあるフリースペースを確保、作業性の良さと整然とした作業環境を実現しています。



板金エリアにはスポットクーラーも完備



車体修正エリアには床式ボディ修正システムが3基。リフト仕様で様々な場面で威力を発揮



検査ライン、アライメントリフトによる完成検査



サンディングストールにもフロアレールを敷設、軽修正作業に対応



単体部品の塗装・乾燥ブース



2つのブース間のマス킹スペース



バンパーは専用のラックにすっきりと収納



ライン左側の塗装・乾燥ブースは、水性対応の加湿・温風発生仕様



ライン右側の塗装・乾燥ブースは、側面オーバードア仕様



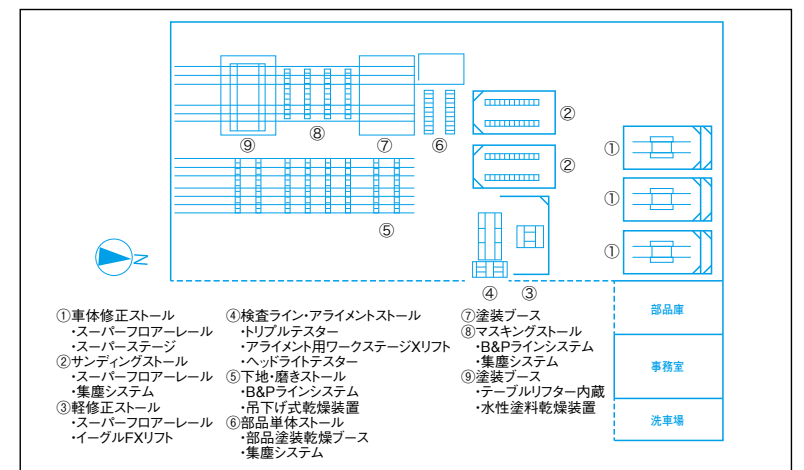
内装部品の保管には専用の室内ラックを設置



スライドレールシステムの導入で効率的な作業フローを実現



床面集塵装置で粉塵の飛散が少ない快適環境を実現



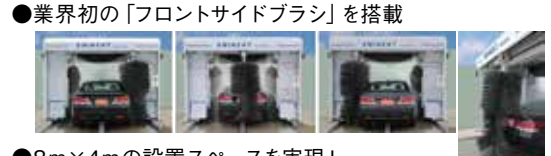
SHOW ROOM

SHOW ROOM

【門型洗車機】 エminentレボリューション RO-18R

業界初! 第6のブラシ「フロントサイドブラシ」を搭載
今までにない省スペース(レール長6.7m)を実現!

商品紹介動画はこちら 



NEW

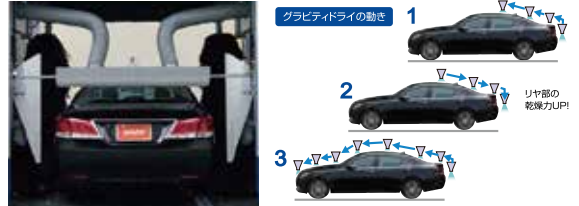


- 業界初の「フロントサイドブラシ」を搭載
- 8m×4mの設置スペースを実現!
※90L水タンク(オプション)使用時
- サビに強い、新開発「フォートレスフレーム」を採用!
・フレームには防錆効果が高い高耐食溶融メッキ鋼板を標準採用!
・外装パネルにはサビに強いカラー鋼板を採用!
・水や汚れから内部機構を守る「インナーアーマー」を装備!

- 重力を味方にした強力ブロウ乾燥「グラビティドライ」で乾燥力アップ!

- 「ダブルセーフティセンサー」搭載で安全洗車
・22対多軸光電センサーと電流検知制御の異なる2種類のセンサーを搭載。
・車形を認識しつつブラシの回転電流で補正を行うことで今までにない安全洗車を実現

グラビティドライ



ダブルセーフティセンサー



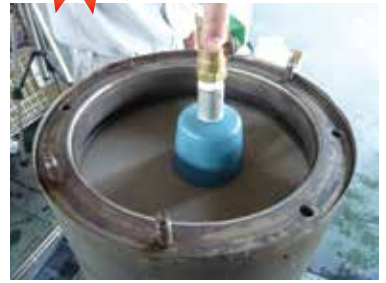
型 式	RO-18R
ブ ラ シ	マシュエル32(スポンジブラシ)
車 両 検 出	TB電流検知+22対多軸光電センサー
洗 車 可 能 寸 法 (mm)	W2,300×H2,300×L5,000 (ワンボックス、ミニバン、ジープは幅2,200)
本 体 寸 法 (mm)	W3,600×H2,800×L2,900
洗 車 コ ー ス	最大21コース(オプション含む)
レ ー ル 長 (mm)	6,700
洗車時最大電気容量(標準)	2.95kw
乾燥時最大電気容量(標準)	7.90kw
電 源	三相AC200V/75A

【ディーゼル車用DPF洗浄装置】 DPFクリーナー KDC-2400

DPFの汚れ・詰まりを解消!
ディーゼル車のエコサービスを実現!

- 洗浄・エアブロー・排水処理まで1台で解決!
- 2タイプの洗浄ガンが標準付属
・広角タイプ ・直噴タイプ
- 2,400L/h大容量ポンプで強力洗浄
圧倒的な水量でエア、水道圧では落ちない汚れもクリーンに洗浄。
- 汚れが循環しない2槽構造
50L×2の2槽構造で洗浄後の汚れを分離、短時間で効果的な洗浄が可能です。

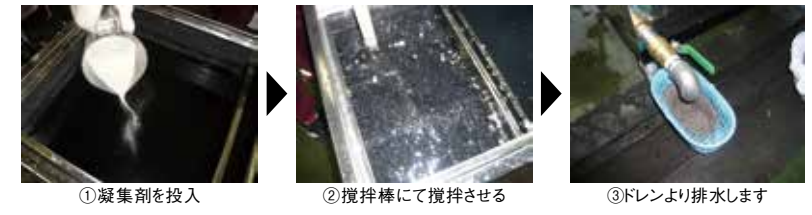
驚異の丸洗い効果! **約10分で洗浄完了!**
※汚れの程度により異なります。



- エアブローガンも標準付属
洗浄後の乾燥もスピーディに行えます。
- 排水・廃棄処理も簡単
洗浄後の黒煙物質は凝集剤で分離、廃棄物として処理できます。



【洗浄後の廃液処理】



型 式	KDC-2400
ポ ン プ 電 源	AC200V 三相 0.55kW
ポ ン プ 性 能	約2,400L/h
タ ン ク 容 量	約50L×2
タ ン ク 材 質	ステンレス
ド レ ー ン 配 管	25A
本 体 寸 法 (mm)	50Hz: W1,000×D620×H665 60Hz: W1,000×D620×H611
本 体 重 量	約77kg



商品紹介動画はこちら

SHOW ROOM

【Xリンク式ドライブオンリフト】 フラットワークステージX 5t WSX-F151GP

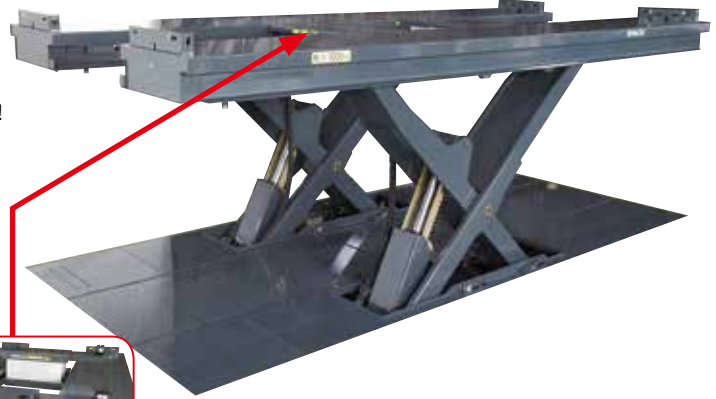
マイクロバスにも余裕の5トン仕様
リフト能力と本体剛性が飛躍的にアップ!

- 余裕の能力5t仕様!
- ランウェイを拡大、乗り入れが容易!
- フラットキット標準搭載!
上昇時・下降時も足元はフラット!
- ロールスクリーン付きピットジャッキを2基標準搭載!
- 作動の静かなサイレントメカニカルロック採用!
- 上昇・下降スピードは作業に応じて2段階切り替え



●車両の大型化に対応、
マイクロバスも楽々
リフトアップ!

能力 **5.0 ton**
揚程 **1,650 mm**



ピットジャッキ標準搭載!

標準
装備
ピットジャッキ (2基)、フラットキット
ピットジャッキ駆動用エアホースリール
■ 液晶タッチパネル



小型モニターを装備した最新型制御盤。
リフトの使用時間、回数、使用電力、CO₂
排出量、リフト異常時の警告などの表示
と定期点検案内も表示されます。

リフト本体	能力	5,000kg
	対象車種	軽～マイクロバス
	本体寸法	L4970mm×W2250×H580
	ランウェイ有効寸法	L4750mm×W700mm
	揚程	1,650mm
	油圧ユニット	内蔵型
動力	電源	AC200V 3相 50Hz/60Hz
	モーター	2.2kW (インバーター駆動)
	エア源	0.6MPa～1.0MPa

【超低床手動式ジャッキ】 ガレージジャッキ 2t M-200DX

最低位80mmの超低床!
出張サービス、移動も容易な手動式

- 能力 2,000kg
- 受金高さ 80～500mm
- 樹脂車輪を採用、床面に傷が付きにくく、移動も静かに
- ラバーパットの併用で新型プリウスにも対応 (オプション)



最低位 **80mm**
[標準受皿部分も80mm]



オプション
ラバーパッド受皿H
[PDX-OP-RP]

SHOW ROOM

【車両中心線表示システム】 センターサポートナビ CSN-3A

ASVのエイミング(調整作業)をサポート!
前後に光るレーザーで作業効率アップ!

- 車両カメラやレーザーのエイミング作業準備が短時間で正確に行えます。
- 付属のミラーで後方のレーザー照射も楽に確認できます。

型式	CSN-3A
本体寸法 (mm)	W150×D100×H65 (足部含む)
重量 (kg)	1.2 (本体:0.9 ミラー:0.3)
レーザークラス	クラス3
レーザー色	赤色
電源	単三電池 4本
オプション	位置出しスタンド (CSN-3A-OP-ST)



【ターゲット位置決めツール】 位置出しスタンド CSN-3A-OP-ST

- センターサポートナビとの組み合わせで作業効率アップ!
- 鏡を使用してセンターサポートナビのレーザーを反射させて車両の正対を確認。
- 横レーザーにより車両中心線に直角な線を表示できます。
- 距離計を搭載可能、車両から正確な位置にターゲットを置くことができます

型式	CSN-3A-OP-ST
本体寸法 (mm)	W244×D310×H830
重量 (kg)	約5
レーザークラス	クラス3
レーザー色	赤色
電源	単三電池 2本
オプション	レーザー距離計 (型式:78180)

位置出しを容易にするレーザー距離計をプレゼント

センターサポートナビフルパッケージ 型式:CSN-3A-FLP-17CP

センターサポートナビ本体
(型式:CSN-3A)

+

位置出しスタンド(型式:CSN-3A-OP-ST)

+

レーザー距離計
(型式:78180)

限定
100台!

センターサポートナビと位置出しスタンドを組み合わせることで

従来2～3人で
約10分
の作業が

作業効率が
大幅にアップ!

1人で
約5分に!

SHOW ROOM

[大型車用アライメントテスター] ヨサム カムアライナー

大型車の安全性、経済性、快適性の向上を実現! 「ヨサム」の最先端アライメントシステム

- フレームセンターを基準に高精度アライメント測定を実現。
 - ・セルフセンタリングゲージにより車体中心線を基準にアライメントを測定。
 - ・車軸の直角度、並行度を含めた車両全体の高精度な測定が可能です。

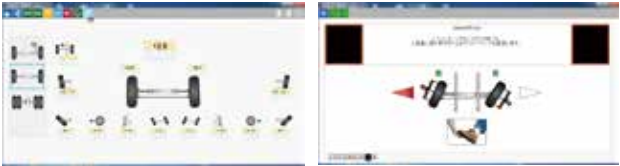


- 軽量コンパクトなカメラセンサーを採用!
高精度な測定が迅速に行えます。



拡大するニーズに対応、 高精度・スピーディな測定を実現!

- 見やすく理解しやすいグラフィック・アニメーションを採用!
 - ・測定項目を選択し、グラフィックに従って測定。
 - ・簡単操作で測定が行えます。



大型車の先進安全技術対応について

大型車においてもカメラやレーザー調整作業にアライメントテスターを取り入れているカーメーカーも出てきています。今後、各カーメーカーから先進安全技術対応に関して専用テスターの必要性や一般的な調整方法など案内されることが予想されます。いずれにしても、衝突被害軽減ブレーキ装置や車線逸脱警報装置や車両安定性制御装置などを正しく機能させる為に、きちんと走る状態にしておくことが必要不可欠です。

<新規基本セット>

- CA2000K-JP (標準セット)
- CA2000K-JP-2M (2軸&マルチロール計測セット)

トラックアライナーやレーザーAMから カムアライナーへステップアップ!

- センタリングゲージやホイールクランプを流用。
- 最小限の構成品で最新バージョンアップ。



<バージョンアップセット>

- ・CA2000K-JP-TAUP (トラックアライナーアップキット)
- ・CA2000K-JP-AMUP (レーザーAMアップキット)

SHOW ROOM

[溶接用防錆剤] 溶接、その前に! Z-101/Z-102

業界初! 「特化則」・「PRTR」に対応した 溶接用・高性能サビ防止剤

- 特化則法・PRTRで指定された有害成分を含みません。
- 安心してご使用いただけ、環境にも優しい防錆剤です。
- スポット溶接、ミグ溶接、ワッシャー溶接時の裏焼け防止にも!

ここが違う! 3つのポイント

- 通電性が非常に高い
- 高張力鋼板に適した配合
- 特化則法・PRTRに対応

<スプレー> Z-101

- ・素早く広範囲に均一に塗布できます。
- ・約5分(夏季)の速乾性
- ・垂れにくい

<ハケ塗りタイプ> /Z-102

- ・溶剤なので冬場も凍らずしっかり塗れます。
- ・固まっても専用希釈剤(Z-102-1)で簡単に液状に戻せます。
- ・約5分(夏季)の速乾性



<スプレータイプ>
Z-101

<ハケ塗りタイプ>
Z-102

6本1組のセットもご用意
※Z-101-6 ※Z-102-6

[効率化台車] マエストロボックス KLV-27-001

メカニックの作業動線を大幅に短縮、 車検整備を効率的にサポートします!

- エアツール、インパクトレンチが
その場で使えるエアチャックを本体左右に配置
- タイヤの脱着を楽々サポートするタイヤキャッチャー
- 部品洗浄がその場でできる作業天板
- 本体上部が回転、最小限の動きで作業が可能!



型 式	KLV-27-001
本体寸法 (mm)	W770×D500×H1,200
付 属 品	<ul style="list-style-type: none"> ・φ8mmコイルホース 3本 (エアラチェット、タイヤゲージ、エアガン用) ・φ10mmコイルホース 1本 (インパクトレンチ用) ・φ10mmコイルホース 1本 (エア接続用)

※写真の工具は含まれません。

未来サービスの エンジニア育成をめざし、 ベトナムから技能実習生を受け入れ。

彌生チーゼル工業(株)における技術者育成の取り組み

わが国からの技術移転を通じて開発途上国の人づくりに寄与する、外国人技能実習制度は現在77の職種を対象に実習生の受け入れが行われていますが、一昨年、自動車整備が新たに追加されたことから、自動車サービス業界でも技能実習生採用への動きが始まっています。

この制度にいち早く着目した東京都江戸川区の彌生チーゼル工業(株)では、昨年春から実習生の受け入れへ向けて採用活動を行い、昨秋、3人のベトナム人青年を迎えて同社における技能実習がスタートしました。



モータリゼーションが加速するベトナム、首都ハノイの街並み。

■海外技術者の育成を通じて企業力強化に



国防省短期大学で学ぶ若者たち。
兵役を終えた人を対象に国が職業訓練を行っている。

さまざまな業種において人材不足が課題とされている中で、同社では従来地元工業高校からのインターンシップ制度などによりエンジニアの定期採用を行ってきました。しかし今後の企業戦略を考える上ではより長期的な視点に立って人材確保、育成を行うことが不可欠として同制度の活用に向向きに取り組まれています。

同社では昨年3月からベトナム・ハノイの送り出し

機関である「LOD人材開発」を二度にわたって訪問され、実習生の選抜と、来日後のオリエンテーションを実施しました。その後、採用の決まった3人の実習生はベトナム国内での語学研修と日本国内の監理団体での1か月間の研修を経てこのたび同社に配属され、今後3年間にわたる実習を受けることになりました。同社の細田社長は同制度の導入にあたり、「制度の正しい理解と、本来の目的に沿った教育実習が大切」とされ、「世界貢献の意義ももちろんですが、実習生の育成を通じて自社の技術力強化、活性化につながると期待しています」と話されています。



教室での授業風景。
ブレーキ構造の座学。



日本での技能実習へ、
夢の実現を目指す若者たち。

発展、成長への長期戦略は人材の育成から

代表取締役社長 細田 健氏



今回、実習生の採用にあたっては「お金を稼ぐことだけが目標でなく、将来帰国して開業したいという夢を持つ人」を基準に、「人物本位」で選考しました。また二度目の訪問では工場、社員寮などの施設や、地元の環境などを紹介するオリエンテーション資料を用意し、来日時の不安を解消するための説明を行いました。とくに大型車整備では将来的にもサービスの需要は安定して見込めます。そのため長期的に人材を確保し、育成できる企業がこれからも発展、成長していける条件になると思います。

実習生の滞在年限は現在3年間ですが、昨年11月に法改正が行われました。優良な監理団体及び優良な受け入れ企業に限って、3年経過して一時帰国(原

則1ヶ月)後、さらに2年間の技能実習が可能となります。今後も毎年3人ずつ採用し、それぞれが技能を身に付けていくことで、3年後には9人の技術者の確保が可能になります。将来的には今回採用した3人が日本とベトナムの技術・人材交流の橋渡し役になればと期待しています。



日々技術習得に励む実習生。
左からチャン ヴァントアンさん、グエン ヴァントゥアンさん、ヴー ホアイリンさん

実習生の「熱さ」、若手社員の成長にも

執行役員 整備部長・葛西工場長 荒川 俊之氏



昨年10月13日(金)に配属され、16日(月)から実習を開始しています。まだ2~3か月なので、現在は日本語でのコミュニケーションを図っている段階です。23歳のグエンは最年長だけに落ち着きもあり、3人の中でもリーダー的な存在です。自分が理解したことを他の2人に伝えるような立場で行動しています。22歳のチャンは温厚な人柄で、人一倍気遣いのできる性格です。21歳

のヴーは人なつっこい性格で皆の受けもいいキャラクターです。3人ともに共通するのは気持ちの「熱さ」、何事もとにかく一生懸命にやることです。工場の清掃なども率先して「やります!」と言いますし、やらせると早く、徹底的にきれいにします。ときには一生懸命のあまりの失敗もあるのですが、きちんと説明して、指示を守ること、安全に作業することを第一に教えています。彼らの一生懸命さは日本人の若手社員にも見習ってほしいですね。また若手社員もいずれは人を指導する立場になるので、技能研修生を教えることは自分自身の成長にもつながると思います。



第1回

経営戦略・工場見学会



○ 経営戦略・工場見学会 出発式 @ ベイサイドホテル アジュール竹芝

今、自動車アフターマーケットは大きな曲がり角を迎えています。日進月歩の最新技術への対応、優れた人材の確保、そして顧客満足、ひいては社員満足度の向上、業務効率の改善など、抱えている問題は少なくありません。今般、こうした課題にいち早く取り組み、成功を納めている事業者様を見学させていただくバスツアーをMSC 経営戦略会議、感動夢工場の各研究会併催という形で開催。10月18日(水)と19日(木)の2日間、71名様のご参加で実施いたしました。第1回目のツアーの様子をレポートします。



ご挨拶

3つの変革への挑戦に向けて

株式会社バンザイ 代表取締役社長 柳田 昌宏



わたくしどもは、自動車整備業界に関わる課題として、三つの大きな変革に挑戦することが求められていると考えます。ひとつ目は自動運転や電気自動車など、クルマの構造やシステムに対応したシステムの提供、ふたつ目はクルマのカーシェアに代表されるモビリティサービスの変革によって参入する新業態企業との関係の構築。そして三つ目は自動運転やモビリティサービスの進歩によって、見直されるであろうインフラや法整備への対応です。

この加速度を増す自動車産業の改革期において情報はスピード、質、量いずれも重要な要素になっています。そこで今回は感動夢工場、MSC経営戦略会議の会員皆様をはじめ、広く全国のお客様に向け、新しい発想の基につくられた最新設備の整備工場やディーラーをご見学していただく第1回経営戦略工場見学会を企画・開催いたしました。今後の皆様のご商売のお役に立てただければ幸いです。

自動車整備業界 3つの変革

1. 高度なクルマの構造やシステムに対応した整備機器の提供
2. 新時代の自動車産業に参入する新業態企業との関係構築
3. 新たなモビリティサービスによって見直されるであろうインフラや法整備への対応

(併催：MSC 経営戦略会議 第116回 研究会 / 感動夢工場 第37回研究会)

講演

アフターセールス部門の取り組みについて

株式会社ヤナセ アフターセールス事業部アフターセールス技術部
部長 細谷 勝一氏



わたくしどもが取り組む人材育成についてお話いたします。少子高齢化と若者のクルマ離れによって困難になりつつあるメカニックの人材確保について、弊社では地域毎に在籍するアフターセールス責任者が地元の自動車専門学校と連携し、情報交換を行っています。また、年に1回開催される全日本学生フォーミュラー大会に協賛して、学生に対する企業PR活動を実施しています。一方、入社後は、フレッシュマンリーダー制度という取り組みの中で、新入社員は先輩からマンツーマンで基本作業を学ぶ態勢を整えています。また、入社後の新入社員研修、その後の職責に応じた研修を適宜実施しています。さらに1年に1度、技術知識検定制度の下、試験を実施して、技術の向上を図っています。

○ 工場見学1：株式会社ヤナセ 本社工場 @ 東京都港区



平成24年に竣工した新社屋は地上6階建てを誇るメガショップです。1階にショールームを構え、3階から6階までの各フロアにはサービス工場や钣金・塗装工場などを設備しています。とりわけ、3階のサービス工場には72ストールの作業場を設け、門型2柱リフトが整然と並ぶ様は圧巻です。全フロアにエアコンが備えられ、全61名のメカニックが快適に作業が行えるよう配慮されています。

また、4Fの钣金・塗装工場はグループ会社のヤナセオートシステムズが運営しています。水性塗料を使用し、周辺環境に配慮したサービスを推進しています。



ショールームに隣接した受付点検場。1日20～30台が入庫。



3Fのサービス工場。メルセデスは31ストールを設けています。



4FのBP工場。钣金4名、塗装4名、フロント2名の布陣で月間150台を修理しています。

○ ディナークルーズ @ ヴァンテアン号

1日目の夜の部は情報交換会として、東京湾クルーズで人気のレストラン船「ヴァンテアン」にて行いました。50名の参加者の皆様それぞれの情報交換を行う貴重な機会となり、大変盛り上がりしました。



締めのご挨拶はMSC経営戦略会議議長の山崎太氏が行いました。



第1回

経営戦略・工場見学会

講演

外国人技能実習制度による人材育成

彌生ディーゼル工業株式会社 代表取締役社長 細田 健氏



自動車整備業界はマンパワーで成り立っており人材確保は重要な経営課題です。弊社では東京都中小企業振興公社の依頼により、平成24年から工業高校生のインターンシップを受け入れてきました。3年次に長期インターンシップを希望してきた生徒が弊社に入社するという形が平成26年から3年間続きました。地域貢献で始めたものが人材確保につながったのです。

平成28年4月、国土交通省は自動車整備士の外国人技能実習生を認可しました。弊社では損保会社の支援制度を利用して平成29年3月にベトナムのハノイに行き、面接を経て3人の実習生を採用しました。彼らはハノイで日本語の研修を受けて、10月に弊社に入社しました。弊社では国際貢献という認識で彼らに技能を習得させ、帰国後にベトナムの自動車整備業界で力を発揮できるように育成していく方針です。



ベトナムから来日した技能実習生(中央3人)。

工場見学 2：ダイハツ東京販売株式会社 D モール月島店 @ 東京都中央区



平成28年にリニューアルオープンしたDモール月島店は、ファミリーユーザーをターゲットにしたダイハツカフェプロジェクトを推進、明るいポップな店舗を実現しています。現車の展示から商談コーナーなど、店舗内のゾーニングを明確にし、お客様に訴求しています。サービス工場はショールームから見渡せる、見える工場・魅せる工場を具現化するとともに、整備作業のスピードアップを図る工夫を施すことで、高効率、高CS、高収益に繋がっています。中でも、徹底した環境整備の推進によって、働きやすい環境を作るとともに、お客様への利便性を高める活動は一見に値します。



最新の検査ラインをショールーム横に設備しています。



魅せる工場には埋設型のタンデムリフトを設備しました。



心のこもったおもてなしを提供する明るいイメージのショールーム。

(併催：MSC 経営戦略会議 第116回 研究会／感動夢工場 第37回研究会)

工場見学 3：彌生ディーゼル株式会社 葛西工場 @ 東京都江戸川区



昭和21年の創業以来、大型車専門の整備工場として70年余りの歴史を刻む彌生ディーゼル(株)は平成23年に本社サービス工場の移転、新築を行いました。生産性の高いサービスを追求する新工場は最新機器を設備。検査ラインにコンピュータと連動するネットワークシステムを導入し、効率性を高めました。5スToolのスペースにキャタピラツインエースを2基設備して、生産性の向上と合わせ、作業の安全性にも配慮しました。新油、廃油タンクは地下に埋設するなど、機能性の高い整備工場として、15名のメカニックのモチベーションアップに繋がっています。



検査ラインにはブレーキ・スピードテスト2基を効果的に配置しました。



ツインエース2基を設備し、作業性を高めています。



揚程1.6mの仕様にしたプラトニリフトを2基設備しました。

工場見学 4：株式会社千葉マツダ 新港店・BPセンター @ 千葉県千葉市



マツダの「魂動」デザインによる重厚なデザインコンセプトを導入した新店舗は平成29年4月にオープンしました。ショールームはお客様が心地よくお待ちいただけるゾーニングを施して作りあげられています。サービス工場はすっきりとしたフラットな工場作りを行っています。整備機器は全てオリジナルカラーで統一。清潔で開放感のある工場が実現しました。また、店舗に隣接する「オートボディアートファクトリー」は小ダメから大ダメまで幅広い補修を実施、また適宜エーミングも行うなど、高い技術力をもつBPセンターです。



カスタマーラウンジゾーンからは工場を見渡すことができます。



16スToolのリフトは全て埋設型のフラットタイプを設備しています。



BPセンターは塗装ブース3基、床下集塵システムなど機能性の高い設備を整えています。

感動夢工場 リペア工房 「パネル板金・下地処理トレーニング」を開催

高張力鋼板など最新のボディ修復に対応
感動夢工場ではリペア工房分科会の研修活動として、昨年10月18日から20日までの3日間にわたって「パネル板金・下地処理トレーニング」を、仙台市の(株)ウエノコーポレーションにて開催しました。
昨今、自動車の外板パネルには従来の鋼板とは異なった性質を持つ高張力鋼板などが多用されています。これらの外板パネルの修復作業には微妙な引出し修理技法など、高精度な修復を実現するための、より高度な技術習得が不可欠となっています。

3日間にわたり実践的技法を修得

今回のトレーニングではフェンダーやドア、リアパネル等の外板パネルの修理技法について、座学と実際の車両を用いた実技トレーニングを行いました。座学では従来の鋼板とは性質の異なる最近の鋼板について知識と理解を深めるとともに、実車による引出し修正や面出しの実技を通じて、より確実に精度の高い板金を実現する実践的な技法を習得しました。

3日間の研修では、それぞれ参加者の技能レベルに応じて、講師によるマンツーマンの指導のもとに、職場での実践に即したトレーニングが行われました。



座学にて鋼板などの知識を深める



ベルトサンダーによる塗膜のサンディング指導



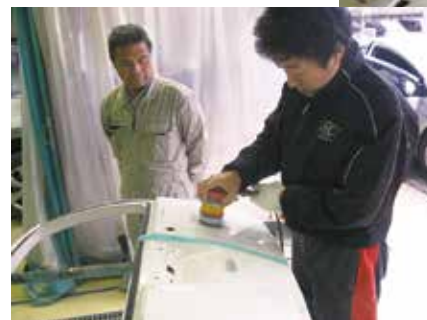
ワッシャー溶植と引き作業の実技



マンツーマンできめ細かい実技指導



作業ポイントを確認



各人の技術レベルに応じた研修を実施



高度なハンマリング技術を修得

BANZAI GUIDE



ジャパントラックショー 2018



ジャパントラックショー2018に出展!!

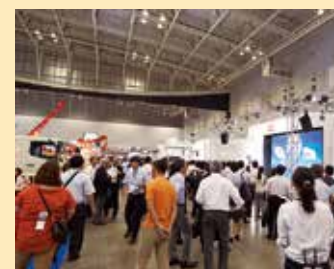
会期 2018年
5月10日(木)~12日(土)

会場 パシフィコ横浜
(横浜市西区みなとみらい)



バンザイでは本年5月10(木)~12日(土)の3日間、横浜市西区の「パシフィコ横浜」にて開催されます「ジャパントラックショー2018」に出展いたします。ジャパントラックショーはわが国最大のトラック関連展示会として隔年で開催され、物流・運送、荷主企業などの来場者を対象に、車両、架装をはじめ、部品・用品、周辺機器、ソフトウェアなど多くのトラック関連企業が出展します。本年はパシフィコ横浜の屋

各種の最新整備機器のご提案を行い、トラックの安全で経済的、エコロジーな運行へのプレゼンテーションを行いたいと存じます。サービスビジネスの皆様におかれましても、ぜひご来場をお待ち申し上げます。



内・屋外全てを使用し、前回の2倍の規模での開催となります。バンザイでは日々進化するトラック技術に対応する



※掲載写真は前回2016年開催時のものです。

編集後記

＜越川＞



新年明けましておめでとうございます。また毎号ご愛読を頂き有難うございます。編集部員一同、心より御礼申し上げます。皆様のサポートがあつてのこのバンザイニュースですが、昨年には300号という節目を無事迎えることができました。

次は会社の100周年に向け、編集部員、社員共に無事迎えられるよう努力していく所存です。これからも皆様に有益となる情報を届けられるよう、一同頑張つてまいりますので本年度も宜しくお願ひ申し上げます。